



## 【平成29年第1回府中市議会臨時会】報告

5月16日(火)～17日(水)に平成29年第1回府中市議会臨時会が開催され、任期4年間の折り返しでの人事が行われ、議長、副議長、監査委員の改選、今年度の常任委員会、特別委員会等の委員が選出されました。

清水勝の2017年度の所属委員会等は以下の通りです。

・常任委員会：総務委員会副委員長(新任)

・議会報編集委員会委員(継続)

・特別委員会：再開発対策特別委員会委員(新任)

・府中市交通安全対策審議会委員(継続)

・議会運営委員会委員(新任)

・府中市総合計画審議会委員(継続)

## 【平成29年第2回府中市議会定例会】報告

6月12日(月)～6月28日(水)の17日間の会期で平成29年第2回府中市議会定例会(6月議会)が開催されました。一般質問は23人31件が発言されました。

### 6月定例会

#### 【所属委員会報告】

##### 総務委員会

副委員長として臨みました。

付議事件では議案1件、陳情1件、協議事項では報告1件が審議されました。

- 議案：府中市個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例について
- 陳情：国政・地方選挙における供託金制度の見直しを求める意見書提出についての陳情
- 報告：平成29年度府中市オンブズパーソン業務運営状況について

##### 議会運営委員会

委員として臨みました。

付議事件では陳情1件が審議されました。

- 陳情：平日夜間議会開催を求める陳情

#### 【特別委員会報告】

##### 再開発対策特別委員会

委員として臨みました。

付議事件ではこの7月にグランドオープンする府中駅南口再開発ビルを中心に再開発対策について報告がされ、審議しました。

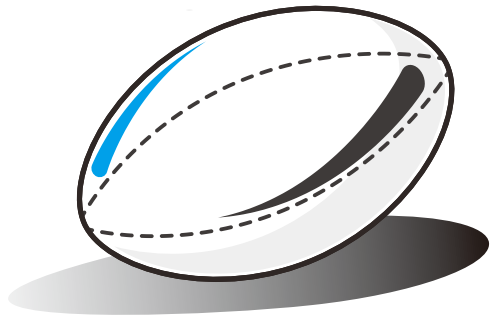
## ラグビーのまち府中推進に向けた取り組みについて



今回は、ラグビーのまち府中の推進に特化し質問する。



- (1) ラグビーのまち府中推進委員会の活動概要、これまでの実績について
- (2) 市内トップリーグ2チームとの連携について
- (3) ラグビーワールドカップ2019日本大会等に向けたキャンプ地誘致活動等の進捗状況について
- (4) ラグビーのまち府中のさらなる推進に向けて、府中市としての今後の取り組みへの考え方と課題について



### A 【市長答弁】

(4) 本市では、地域に根差した貴重な資源であるラグビーを活用した本市の新しいブランドとして、「ラグビーのまち府中」の取組を展開している。

「ラグビーのまち府中」を市内外に発信することで、府中に訪れる人を増やし、地域の活性化を図るほか、ラグビーを通じて子どもたちがスポーツに親しみ、子どもたちの体力向上や健全育成につなげるとともに、人々のつながりを広げ、市民協働の意識を醸成し、本市への愛着の形成に寄与することを目指している。今後も「ラグビーの力を、府中の力」をテーマに、本取組を継続していきたい。

課題については、本取組を一過性のものとすることなく、いかにして、国際大会終了後も、定着・安定させていくかということであると認識している。このため、ラグビーのまち府中推進委員会を始め、市民の皆様と更なる協働を図ることにより、本取組をより一層強固なものとし「ラグビーのまち府中」を着実に推進していきたい。

### 【担当部長答弁】

(1) ラグビーのまち府中推進委員会については、地域の活性化、スポーツと観光の振興、子どもたちの健全育成等、ラグビーを活用することにより、府中市の発展に寄与することを目的として、関係団体の皆様にお声がけをさせていただき、昨年7月に発足した。

これまでの実績ですが、発足以後、ラグビーのまち府中シンボルマークの決定、市民招待企画や「ラグビーのまち府中デー」など年間を通じて様々なラグビー関連イベントを実施したほか、関連商品の作製・販売やパートナー店舗の募集、ラグビーと本市の観光名所や飲食店を結びつけた冊子「ラグビーのまち府中街あるきガイドブッ

ク」の作成等を行った。

(2) 東芝ブレイブルーパス及びサントリーサンゴリアスについては、これまでもボールふれあいフェスタや多摩川清掃、市民招待企画を始め、市内小・中学校や幼稚園の講習会、市内の特別養護老人ホームや子ども発達支援センター等への訪問活動など様々な地域貢献を行っていただいている。

また、ラグビーのまち府中の推進に向けたイベント出演やガイドブックへの情報提供等の取組をはじめ、調布市及び三鷹市と協働で行ったラグビーフェスティバルやキャンプ地誘致に向けた協力をいただくなど、多方面において連携をさせていただいている。

今後も両チームとの連携・協働については、ラグビーのまち府中の取組を推進していくうえで、必要不可欠なものであると考えている。

(3) 昨年12月に公認チームキャンプ地選定プロセスに応募しており、本年1月には、組織委員会の実地審査が実施されている。今後、本年夏には公認チームキャンプ候補地の決定がなされ、秋以降には、ラグビーワールドカップ2019出場チームによる実地視察が予定されている。

これらの手続きが順当に進めば、年度内には本市が公認チームキャンプ地として正式決定していくものと考えている。また、事前キャンプについても、現在、複数の国との直接交渉等を進め、東京2020オリンピックにおける7人制ラグビーの事前キャンプ誘致と一体的に検討している。



【再質問】ラグビーのまち府中推進委員会を始め、市民との更なる協働を図り、この取組をより一層強固なものとし、「ラグビーのまち府中」を着実に推進していきたいと力強いお言葉をいただいた。

府中ダービーマッチや「ラグビーのまち府中デー」などのイベントの実施をはじめ、様々な取り組みを行っていることは評価するもののせっかく国から補助金が交付されている事業ならば、もっと積極的に活用する体制をさらに整えていくべきと考える。

先日の新聞にラグビーのまちとして期待の大きさが表れた記事があった。「工場で組み始めたスクラムが街に出て、市民も加わる」との記事でしめられていた。まさに、この機会を逃すことなくさらにトップチームとの連携強化をし、スクラムを組んで多くの市民、そして市外にも発信していただきたい。

再質問として

(1) ラグビーのまち府中のさらなる推進のための今後の具体的な施策について

(2) キャンプ地誘致のための参加国との交渉状況と朝日サッカー場の改修計画と誘致に関わる課題について

(3) ラグビートップチームや民間事業者とのコラボした取り組みについて

## A 【担当部長答弁】

(1) ラグビーのまち府中のPRについては、今後もより一層強化していく必要がある。ラグビーのまち府中推進委員会を中心に、引き続き、これまでの事業を充実・発展させていきたい。

新たな事業として、これまであまりラグビーに関心なかった方々にラグビーの魅力を伝えるフォーラムや今後のラグビーのまち府中のあり方について市民の皆様と定期的に意見交換を行うワークショップの開催、クラウドファンディングにより実施するモニュメントの設置等の検討を進めている。

(2) キャンプ地誘致のための参加国との交渉は、公認チームキャンプ地では、自治体は特定の国、チームと直接交渉を行ってはならないため、事前キャンプについて、ラグビーワールドカップ2019と東京2020オリンピックを一体で捉え、複数の国との直接交渉等を進めているが、現状としては、合意には至っていない。

朝日サッカー場については、ラグビーワールドカップ2019公認チームキャンプ地ガイドラインを満たす施設とするため、天然芝の改良等を行うよう、本年4月に契約締結及び整備着手をした。引き続き、東京都及びラグビー

ワールドカップ2019組織委員会との連携を図りながら、キャンプ地として必要な整備を進めていきたい。

誘致に係る課題としては、今後、実際にキャンプ地誘致が決定したあとに、受け入れる国、チームに対しレセプションなどの歓迎、おもてなしをどのように行っていくか、また、キャンプ地誘致の恩恵をどのように市民の皆様へ還元していくか、具体的な検討を行い、市民協働による受け入れの体制づくりを進めていく必要があるものと考えている。

(3) ラグビーのまち府中のシンボルマークと両チームのチームロゴを活用し、市内事業者にご協力いただき、スイーツを作成・販売したほか、バナーフラッグを製作し、市内商店街のご協力のもと掲示いただいている。

また、現在、自動販売機のラッピングでのマークの活用についても検討している。

ラグビーのまち府中の取組を推進していくうえでは、今後も両チームとの連携は、必要不可欠なものであり、これに市内事業者が連携いただくことで、さらに本取組が広がっていくものと考えているので、今後も両チーム並びに市内事業者との連携・協働について検討していきたい。

## 意見・要望

(1) ラグビーのまち府中のPRについては、ラグビーを知らない人のためのルール講座等、ラグビーを原点から楽しめる手法も必要である。

ラグビーのまち府中推進委員会のさらなる活動推進とラグビーのまち府中のPRのため専用ホームページの開設と広報紙の発行を要望する。

(2) 名乗りをあげている自治体の多くが積極的に各国の訪問あるいは、招待をし、視察してもらっているとのこと。誘致活動があまりにも過熱することは望ましいとは思いますが、出来る範囲でかつ積極的に進めること

を望む。

朝日サッカー場の改修計画と誘致に係る課題について、サッカー場の天然芝改良等に整備着手し、引き続き、キャンプ地として必要な整備を進めていくとのことだが、スタジアム化も視野に入れて、どこまで可能か検討を進めていただきたい。

サッカー場の表記が国際的には通用しない、フットボールフィールドが良いのかグラウンドが良いのか、はたまたスタジアムまで進化するのか?是非とも名称変更については早急に実現に向けて動いていただくことを要望する。

キャンプ地誘致に係る課題については、宿泊施設をどこにするのか、食事会場やトレーニング施設をどこまで整備するのか等、様々な課題があると思うが、さらに具体的な計画策定に着手し、実行していくことを合わせて要望する。

(3) 自動販売機のラッピングについては、トップリーグ2チームとのコラボしたラッピングが出来ないか?設置に向けて取り組んでほしい。

また、ちゅうバスのラッピングや府中駅改札前への横断幕設置、ラグビーのまち府中街歩きガイドブックの更新、ガイドブックとステッカーのトップリーグ試合会場での配布、市内民間企業とのラグビーめしの共同開発、ピンバッチやグッズの販売、個人の名刺へのシンボルマー

ク表示等、ラグビーのまち府中推進のため市民協働としていろいろな取り組みが考えられる。

さらに、観光協会との連携や現在の市政情報センターが「ル・シーニュ」に移転した後は、駅構内の公共利用スペースをラグビーのまち府中の積極的なPRに活用することなども出来ると思う。ラグビーのまちとして、ラグビー人口の底辺を広げ増やす取り組みとして幼稚園でのラグビー教室の実施や試合会場へのバスツアーでの招待等も進めるべきと考える。

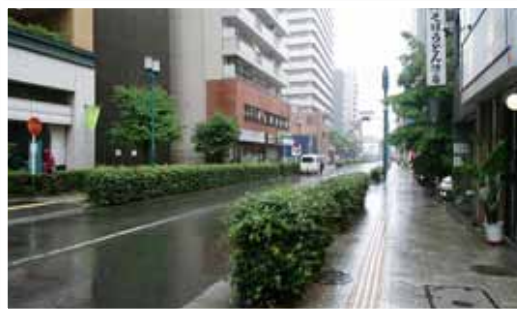
ラグビーをこよなく愛する一人として、さらなるラグビーのまち府中推進の取り組みをお願いし、私の一般質問を終わります。

## 地域活動等

(株)東芝府中事業所内の#41E建屋に肢体不自由児者父母の会への寄附のためのチャリティ自販機を設置しました。▶



府中駅南側の宮町中央通りと新宿公園の植栽の伐採を担当部署と連携し対応しました。▼



(株)東芝府中事業所北門の横街道の植栽が伸び、視界が悪いとの連絡があり、担当部署と連携し対応しました。◀



## 府中市議会議員 清水 勝 プロフィール



1964年 山梨県北巨摩郡(現北杜市)生まれ  
 1983年 山梨県立甲府工業高校卒/（株）東芝府中工場入社/コンピュータ製造・試験・工程管理  
 1994年～2015年  
 ◆東芝グループ連合・東芝労働組合役員/◆連合東京・連合三多摩・電機東京役員/◆府中市各種審議会委員等を歴任  
 2015年4月 府中市議会議員初当選(①2959票)  
 ◆東芝グループ連合・東芝労働組合顧問  
 ◆市議会(主な役職)  
 2015年度 建設環境委員会副委員長/市庁舎建設特別委員会委員  
 2016年度 文教委員会委員/市庁舎建設特別委員会副委員長  
 2017年度 総務委員会副委員長/再開発対策特別委員会委員 等



■清水勝HP



■Facebook

■清水勝ホームページ  
<http://shimizu-masaru-fuchu.jp>  
 ■Facebook  
<https://www.facebook.com/shimizu.masaru.fuchu>

お気軽に  
ご相談下さい

【連絡先】〒183-8511 府中市東芝町1番地 東芝労働組合府中支部内  
 TEL.042-333-6890 FAX.042-319-1481 E-mail:shimizu.masaru.fuchu@gmail.com